

国際交流基金助成事業報告書

大阪医科薬科大学 薬学部 4年次生 速水海登

1. 渡航前に考えていた自分の目標

今回のカナダ語学研修において私が目標としていたことは、「今回参加した誰よりも英語力を伸ばす」というものです。というのも私は今回が初めての海外渡航であり、これまで英語を話すといったこともほとんどない状態でした。周りに留学経験者などがある中、自分は圧倒的に海外滞在などの経験値が足りないと感じたのです。

ですが、だからこそ他の人たちよりも吸収できる知識量が多いだろうと感じていました、英語学習に対する積極的な姿勢を崩さなければきっと充実した滞在期間になると考えていたのです。そこで今回この目標をかなえるための具体的な案として①現地の人と積極的にしゃべる②仲良くしたいという姿勢を崩さない③文法は間違っていないから積極的に英語を使う④今後使えそうな英語表現などがあればメモしておくの4つをあげました。

2. 渡航後

まず英語を積極的に話せたかという事ですが、最初は緊張してしまい何を話していいかわからなくなってしまったり、相手の言っている英語が聞き取れず戸惑ってしまったりする場面も多々ありました。しかし、そうなることはある程度分かっていたので、あらかじめ伝えておきたいことを英語でメモしておきました。そうすることによって、ホームステイ先の人と最低限話しておかなければならないことは話すことができました。ですがそれはあくまで最低限の会話だけであって、それ以外の会話は独力で行いました。そこで役に立ったのは文法の勉強とリスニングの勉強でした。これらは研修のまえに少しずつ行っていたもので、このような事前勉強が非常に役に立つと知ることができました。文法の参考書は中学レベルのものですが、基礎からしっかり固めることによって自由に単語を正しい語順に組み、話すことができました。

リスニング勉強ではテッドトークなどのスピーチ動画を教材として使い、聞き取れるようにするだけでなく、日常で使えそうな英語表現などもメモしておくことでスピーキングにも役立てることができました。ほかにも観光名所や利用する駅の情報、カナダで注意しておかなければならないマナーなどをおさえておきました。このように海外に行く際には事前準備を怠らないことが非常に大切であると学びました。

3. これからの自分

このカナダ研修で私は文化の異なる人たちとともに生活するという貴重な経験をする

ことができました。今まではそういった人たちとはあまり関わってこなかったので交流しづらい印象がありました。しかし今回の研修でたとえ言語や文化背景の異なる人でもコミュニケーションをあきらめずに交流を続ければ仲を深めることができるということを知りました。これからは国際交流のチャンスを積極的に活用したいと感じるようになったのです。

4. 医療施設見学

このカナダ語学研修では午前中に授業を行った後、午後から診療所や病院、薬局など様々な医療施設に訪問しました。カナダでは日本と違い緊急時以外は初めにウォークインクリニックと呼ばれる診療所を使うことになっており、日本の様にすぐに専門医には会えないらしいです。またカナダでは麻薬中毒者が不正に麻薬を処方してもらおうとすることがあるらしく薬剤師は麻薬の取り扱いに人一倍気を付けなくてはならぬらしくこれも日本にはめったにないことだと驚きました。

5. 語学学習

私たちはCICCCと呼ばれる語学学校で医療英語についての学習を行いました。具体的には医療現場で用いられる薬、痛み、症状またはその程度を表す英単語の学習、医療現場での英会話シーンのロールプレイなどを行いました。授業ではディスカッションやロールプレイ、クイズを用いることが多々あり毎日飽きることのない楽しい授業を受けることができました。



6. ホームステイ

ホームステイ先では、日本にはない様々な文化に触れることができました。また、ホストファミリーの人たちはとても親切で私のつたない英語も一生懸命聞いてくれました。ホストマザーは私に「私たちはファミリーなのだから緊張しなくていいよ」といってくれてその言葉がすごくうれしかったのを覚えています。

途中、食事の量が多くて食べきれなくてどうしようか困ってしまった場面もありましたがしっかりとその気持ちをホストマザーに伝えることで食事の量を変えてもらったりしました。このように日本人的には言いにくい事でも素直に自分の気持ちを伝えることはお互いの関係を良好にするうえで非常に大切だと気づきました。

7. 渡航先について

カナダは日本と比べると気温はとても涼しく、長袖の羽織るものが必要なほどでした。夜は特に冷え込み夜はクーラーなしで寝ることができました。

ロケーションですが、私の通っていた語学学校の CICCC はバンクーバーの都市に位置しており、駅からも近いので非常に通いやすかったです。また都市に近いという事もあり、近くにショッピングモールや観光名所があったりしたので、授業終わりにそういった場所を楽しむことができました。

交通機関については電車、バスに加えシーバスといった船など様々あり、それらを使うことでバンクーバーの都市とは違った自然の素晴らしい景色を見ることができました。



8. 最後に

今回の実習は1週間ととても短い滞在でしたが、それ以上にとっても充実した日々を過ごせました。初めてのことで、わからないことはたくさんありましたがため込まずできるだけその場で解決するように努めることで特に大きなトラブルもなくこの語学研修を終えることができました。初めてのことに挑戦するのは非常に勇気のいることですが、挑戦することによって新たな出会いや感動が生まれるだろうし、それに直面した時、あの時勇気を出してよかったと感じると思うのでこれからは英語に関わらず様々な分野にチャレンジしてみたいと思いました。